

主のいのちを生きる

Living
His
Life

by J.W.BRAMHALL

J.W.ブラムホール著



伝道出版社

主のいのちを生きる

J・W・ブラムホール著

Living His Life

by

John W. Bramhall

Published by

J. W. Bramhall Radio Fund, Inc.

Evangelical Publishers

Tokyo, Japan

目次

まえがき	7
第一章 キリストにある救いと保証	9
レッスン1 キリストが私たちのためになさったこと	10
レッスン2 キリストが私たちのためにおられること	14
レッスン3 キリストが将来、私たちのためになさること	21
第二章 新しいのちと神との交わり	25
レッスン1 新しいのちとは何か	25
レッスン2 神との個人的な交わり	27
第三章 新しいのちと集会における交わり	37
レッスン1 最初の責任はバプテスマを受けることです	39
レッスン2 主の晩餐で礼拝する責任	43
レッスン3 ささげ物をする責任	47

レッスン4 祈り会での私たちの責任 54

レッスン5 みことばの学びを聞く責任 57

レッスン6 定期の集会以外の交わりの場 59

レッスン7 集会に仕える責任 60

第四章 新しいのちと教会

69

レッスン1 霊的な長老たちが集会の牧者です 72

レッスン2 集会における執事の働き 75

レッスン3 集会の懲らしめ 76

第五章 この世における新しいのち

83

レッスン1 クリスチャンが行動する際の一般原則 84

レッスン2 家庭でどのように歩むべきか 86

レッスン3 仕事の上でどのように歩むべきか 88

レッスン4 学校でどのように歩むべきか 90

レッスン5 社会生活でどのように歩むべきか 93

第六章 新しいのちとあかし

96

レッスン1 あかしのための備え 97

第七章	新しいのちと主の評価	109
	レッスン2	メッセージを語ること 98
	レッスン3	あかしにおける諸問題 100
	レッスン4	あかしする力 106
	レッスン5	あかしの目的 107
第八章	新しいのちと主の再臨	117
	レッスン1	主の再臨は近い 117
	レッスン2	携挙 120
	レッスン3	父の家 124
	レッスン4	天にある栄光 127
	レッスン5	キリストの花嫁 129
第九章	聖書研究	133
	レッスン1	静思をとおしての学び 134
	レッスン2	教理の学び 139

レッスン3 注解による学び 141

参考文献 142

あとがき 147

本文さし絵 山本ルツ

まえがき

「救われました！」 キリストを信じ、新しく生まれた信者にとって、これ以上すばらしいことばはありません。この本は、この世における信者の歩みを導くためのものです。それも、神ご自身が見ことばの中で示しておられるとおりに。「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です」(詩篇一一九・105)。

この本から最大の利益を得るために、次の二点を実行されるよう特にお勧めします。まず、各主題をよく祈りながら学んでください。聖霊の力によって神の真理を知ることができるよう、神に求めてください。私たちは、この世の霊を受けたのではなく、神の御霊を受けたのですから。「それは、恵みによって神から私たちに賜わったものを、私たちが知るためです」(1コリント二・12)。

次に、聖書から引用されている聖句をすべて畏敬いけいの念を持って読んでください。各課を毎日、規則正しく学んでください。それぞれの主題について黙想してください。そうすることによって、尊い神のみことばを消化し、吸収することができます。その結果、あなたの全存在が神の栄光にふさわ

しいものとなり、あなたは恵みのうちに成長できるでしょう。パウロが信仰の子テモテに送った次のことばをあなたのモットーとしてください。「これらの務めに心を砕き、しっかりやりなさい。そうすれば、あなたの進歩はすべての人に明らかになるでしょう」(1テモテ四・15)。

第一章 キリストにある救いと保証

「大いなることよ。救われることも、

それを知ることよ」と、喜びにあふれた
賛美歌作者は書き記しました。これは何
と真実なことばでしょう。救われた者に

「救いの喜び」だけでなく「救いの知
識」(ルカー・77)も与えられるとは、何

と光栄なことでしょう。私たちは大喜びでキリストを受け入れました(同一九・6)。しかし、それ
だけでは十分ではなく、神の大いなる救いははっきりと幅広く理解しなければなりません。それも、
みことばに示されているとおりにです。神の真理は、自分の救いを確信するためにも、救い主を十
分にあかしするためにも必要です。

神の教えによると、私たちのたましいの救いと保証は、もっぱら、神の御子キリストが成し遂げ

